

平成25年第2回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成25年第2回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	5	山口 政人	農業振興について	3
			人口減少に対する取り組みについて	
			中小企業支援について	
			企業誘致について	
2	16	平野 昭義	水害対策について	4
			国道498号の渋滞問題と水路蓋について	
			企業誘致活動と大型道路整備について	
3	1	辻 浩一	次期市長選へ再出馬の有無について	6
			委託料全般について	
4	4	山下 芳郎	一般質問における「検討する」という答弁について	7
			有機栽培及び特別栽培の推進について	
5	8	梶原 睦也	介護マークについて	
			選挙について	
6	10	副島 孝裕	人口減少・少子高齢化の対策について	9
			嬉野市・鹿島市・太良町連携政策会議の創設について	
			再生可能エネルギー導入の進捗状況について	
7	3	田中 平一郎	観光問題に関わる諸問題について	11
8	12	織田 菊男	和泉式部公園について	13
			外国人観光客の誘致について	
9	13	神近 勝彦	国道34号、県道嬉野塩田線の歩道設置について	14
			嬉野医療センター跡地の利用計画について	
10	11	田中 政司	農業問題について	15
			観光問題について	
			歯科小児矯正について	
11	15	西村 信夫	農業問題について	16
			鳥獣被害防止について	
			耕作放棄地の整備と活用について	
12	14	田口 好秋	治水ダムについて	17
			少子高齢・人口減少化社会における行財政運営、施設整備の在り方について	
			市長選挙について	

13	6	小田 寛之	子育て支援について	18
			公有財産の処分について	
14	17	山口 要	リーダー論について	19
			財政問題について	
			シティプロモーションについて	
			総合計画について	
			公文書表記について	
			文化問題について	
			公衆トイレについて	
			教育問題について	
一 質 日	般 問 程	6月12日	山口政人、平野昭義、辻浩一、山下芳郎、梶原睦也	
		6月13日	副島孝裕、田中平一郎、織田菊男、神近勝彦、田中政司	
		6月14日	西村信夫、田口好秋、小田寛之、山口要	

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6-1条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 5 月 27 日

通告者(議席番号 5 番) 山口 政人

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	農業振興について	<p>現在、農業をめぐるでは高齢者や後継者不足、耕作放棄地の増加など人と農地の問題が指摘され、将来展望が描けない地域が増えている。そこで、農林水産省は昨年度から市町村による人・農地プランの策定を促している。こうした制度をフルに活用して農業の6次産業化やそれに伴う雇用の創出を図るなど、地域産業のけん引役としての農業を考える時期に差しかかっている、農業の在り方そのものを考え直す岐路に立っていると云っても過言ではないと思う。</p> <p>そこで、地域産業のけん引役としての嬉野市農業の将来像をどう描こうとしているのか伺う</p>
市長	人口減少に対する取り組みについて	<p>嬉野市として、人口減少、少子高齢化社会をどのように捉え今後のまちづくりを進めていくのか伺う。</p>
市長	中小企業支援について	<p>電気料金の値上げ、原油高騰の懸念等市内企業を取り巻く環境は、予断を許さない状況が続くことが予想される。中小企業金融円滑化法が本年3月末で失効になり企業の動向が心配されるが、その対策はどのように考えているのか伺う。</p>
市長	企業誘致について	<p>現在までの企業誘致の課題は何か、また今後の企業誘致をどのように進めようとしているのか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年5月27日

通告者(議席番号 16番)

平野昭義

嬉野市議会議長 様

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	水害対策について	<p>塩田川は昔から暴れ川と言われてきたように、雨季になると下流域の住民は、眠れない日が続いてきました。昭和37年7月の大水害は堤防が数箇所が決壊し、5人の尊い人命が犠牲となりました。</p> <p>国は、大水害から住民を守るため、国の特改事業で232億円を投じ大改修事業が完成し現在に至っております。また、上流の嬉野町には昭和45年岩屋川内ダム(250万トン)が建設され、その後吉田地区上流の住民の方々のご協力により、横竹ダム(429万)が完成し、下流域住民の方は水害のない今日、心から感謝いたしておられます。</p> <p>塩田町は平成3年以降、大きな被害もなく住民は平穏な日々を送られておられますが、近年、地球温暖化に伴う異状気象により大きな被害が発生しています。昔からの諺に「災難は忘れたころにやってくる」とあります。平成2年から20数年、大きな水害もなく平穏な日々が続いておりますが、雨季を控え水防対策についてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市内の危険箇所について <ol style="list-style-type: none"> ①河川・堤防・ため池・急傾斜など危険箇所数。 2 花立水路改修工事 <ol style="list-style-type: none"> ①改修前と改修後の、排水機の排水能力の違いは。 3 浦田川に設置されている排水ポンプの排水能力は。 4 花立水路及び浦田川の2ヶ所の排水能力は、庁舎床下浸水を避けることができるか 5 ダムの管理(調節機能)について <ol style="list-style-type: none"> ①管理者である県への対応はどうしているか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	国道498号の渋滞問題と水路蓋について	<p>この問題について、平成23年12月一般質問で取り上げましたが、その後大渋滞は解消されていません。</p> <p>特に朝夕は樋口病院前まで渋滞し武雄方面へ行かれる方から不満の声が多く聞かれます。その道路沿いの住民は車の出入りが難しく生活に支障をきたし移転された方もいらっしゃいます。</p> <p>また、その道路の片側には水路があり歩行者や自転車での通行は危険で、水路に転落する方は後を断ちません。</p> <p>この問題について、議会での答弁は地元や県と協議し早急に解決に努力して行くと言われたが、その後の協議状況を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地元関係者や県との協議は、何時、何回されてきたのか。 2 国道に沿って水路があるが、非常に危険で学生や地元住民も何回も転落されている。水路の蓋を設置するよう以前から要望されているが早急に実現すべきだ。また、防犯協会などと早急に協議し外灯を設置すべきと思うがいかがか。
市長	企業誘致活動と大型道路整備について	<p>超少子高齢化が進む今日、地方は企業誘致による人口増対策と、市民が住みたい街と誇りを持てる基盤を築く事が急務である。</p> <p>道州制は近い将来実現に向けて進んでおり、鹿島―武雄間を結ぶ大型道路の建設が最大の課題である。</p> <p>バブル崩壊から企業の多くは海外へシフトしたが、円安・株価上昇は企業にとって明るい兆しは今後、国内において活発化するものと考えられます。</p> <p>嬉野市も、他市町に遅れることなくこの問題に積極的に全力で取り組み県南西部の中核都市を目指すべきでないかと考えるが市長の意欲を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 企画企業誘致課は、現在その活動が停滞しているが、今日だからこそ重点的に活動すべきである。また、先手の行動が実を結ぶと考えるが、企業誘致活動はどう進めていくのか伺う。 2 新幹線を活かした街づくりは、近隣市町との連携が課題となるが大型道路の整備は、定着人口増や交流を盛んにし元気と活力のある街づくりに貢献すると確信するが、市長の考えを伺う。 3 国道498号線の起点は鹿島市と聞かすが、現在伊万里市が優先している。期成会では新しい提案が行われているが、市民の意見を聞くべきではないか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 5 月 29 日

通告者(議席番号 1 番) 辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	次期市長選へ再出馬の有無について	1 合併後2期目の谷口市政が来年2月の任期まで残すところ約半年となった。この間の成果と課題について所感を伺う。 2 現在、次期市長選にむけて新人の立候補が表明されたが、市長の再出馬の意思について伺う。
市長	委託料全般について	1 以前から一般質問や質疑の場において、業務委託をする場合、業者に丸投げではなく自前でできるものは自前でとの意見があったが、その後検討はなされたか。 2 総合的な職員育成も必要ではあるが、部署によっては、専門職も必要ではないかと考えるがいかがか。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 5月 30日

通告者(議席番号 4番)

山下芳郎

嬉野市議会議長 様

記

相手	質問の事項	質問の要旨
市長	一般質問における「検討する」という答弁について	<p>①一般質問における「検討する」という答弁について、議会後の協議はどうしているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会及び市民に審議内容が伝わっていないが公表すべきではないか ・ 大村市の「議会答弁事項進捗状況調書」を参考にしているか <p>②過去の「検討する」という答弁について、その後どうなっているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シーボルトの湯周遊体験ゾーンでの河原の再現は(平成23年3月) ・ 防災の日に合わせた防災訓練は(平成23年6月) ・ 空き家バンク制度は(平成23年12月) ・ ジェネリック医薬品の普及は(平成24年3月) ・ 皿屋の太陽光発電の進捗状況は(平成24年6月) ・ 庁舎でのタバコ受動喫煙防止(分煙)対策は(平成24年9月) ・ 友好都市の提携は(平成24年12月) ・ 観光資源を活かす方法で浦田川の陶土運搬船は(平成25年3月)
市長	有機栽培及び特別栽培の推進について	<p>①有機栽培、特別栽培について市長の認識を伺う</p> <p>②嬉野市の現状と推進は図られているか</p> <p>③今後の取り組みについて市長の考えを伺う</p>
教育長		<p>④学校給食は、安全安心の食材が提供されているか、また今後、有機栽培や特別栽培の食材を取れ入れる用意はあるのか</p> <p>⑤学校の授業の一環として、有機農法の農業体験学習は考えられないか</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年5月30日

通告者(議席番号 8 番) 梶原睦也

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	介護マークについて	<p>静岡県では、県主催の認知症介護家族との意見交換で「認知症の人の介護は、外見では介護していることが分かりにくい ため、誤解や偏見を持たれて困っている。介護中であることを表示するマークを作成してほしい。」との要望を受け、 在宅介護者を支援する取り組みとして全国初の「介護マーク」を作成した。</p> <p>本市においても、あらゆる障害者を含む介護者を支援するためにも是非、介護マークの作成に取り組むべきと考えるが市長の見解を伺う。</p>
選挙管理 委員長	選挙について	<ol style="list-style-type: none"> 1 成年被後見人の選挙権が認められたが、本市における具体的な対応はどのようになるのか。 2 病院・介護施設等での不在者投票のあり方について伺う 3 県内、他自治体において投票所入場券に期日前投票宣誓書を印刷して、期日前投票がスムーズに運ぶよう対応されているところがある。本市においても早急に取り組むべきと考えるがいかがか。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 5 月 31 日

通告者(議席番号 10 番)

副 島 孝 裕

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	人口減少・少子高齢化の対策について	<p>出生率の低下と平均寿命の伸長により急速に少子・高齢化が進み、本市においても合併時 30,388 人が本年 4 月末 28,038 人と毎年約 330 人の人口が減少している。</p> <p>1 我が国全体が人口減少社会へ突入していく中で、人口減少に対応した計画的なまちづくりが必要と思うが、本市において、どのようなまちづくりを進めるべきと考えるか。</p> <p>2 市内地区別の人口減少率を合併当初と本年 3 月を比較すると、五町田地区 5.2%、嬉野地区 6.4%、久間地区 7.1%、塩田地区 9.2%、吉田地区 12.7%と、吉田地区を筆頭に各地区の人口が大きく減少している。その要因は何と考えられるか。</p> <p>3 人口減少の加速化に伴い高齢化も進んでいる中で、老人福祉施設等への入所待機者が多くなっているが、特に人口減少の進む吉田地区に「特別養護老人ホーム・うれしの」のような施設の計画は考えられないか。</p> <p>4 人口減少の対応策として定住促進奨励金制度があり、確実に成果を上げているが、条例施行期限が本年度末と迫っている。当然、制度を継続すべきと思うが、制度の充実・見直しなど考えているか。</p>

NO

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	嬉野市・鹿島市・太良町連携政策会議の創設について	<p>平成の合併が一段落し今後の合併は期待できない中で、杵藤地区広域市町村圏組合においては、消防・ごみ処理・電算・介護保険等の広域行政は的確に推進されているが、ソフト面の政策はほとんど推進されていない。</p> <p>3月議会において、「嬉野市・有田町連携誘客事業」が提案され、事業が推進される。嬉野市・鹿島市・太良町は、鹿島・藤津地区としての連携に歴史があり、県南西部地区の共通した政策課題を数多く抱えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 共通した政策課題や問題に対応できるよう協議の場を設けるため、鹿島市・太良町に提案し、「2市1町連携政策会議」を創設すべきと思うがいかがか。 2 先の議会において、総務省が推進する「定住自立圏構想」を提案した。当時、市長の答弁は否定的であったが「2市1町連携政策会議」を創設し協議する考えはないか。
市 長	再生可能エネルギー導入の進捗状況について	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長は、再生可能エネルギーの利用について積極的に推進すると明言され、原発についても将来に向けて廃止すべきと答えられている中で、3月議会において太陽光発電システムの補助金を半減してしまったことは、市長の政策に反すると思うがいかがか。 2 小水力発電調査業務の報告で、清水浄水場における小水力発電の検討がなされたが、その後の進捗はどのようになっているか。 3 吉田皿屋地区において、メガソーラー事業の工事が6月から開始予定で、年内にも運転開始予定である。工事用の道路は市道とは別のルートになる予定であるが、完成後は見学の車両など多くなると考えられる。特に入口付近の市道の道幅が狭く、迂回できるような場所もなく事故の発生が心配されるが、その対応は計画されているか。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年5月31日

通告者 (議席番号 3番)

田中平一郎

嬉野市議会議長様

記

質問の相手	質疑の事項	質問の要旨
市長	観光問題に関わる諸問題について	<p>観光地である嬉野市は、厳しい経済環境の中温泉旅館、商店街の低迷が続いている。</p> <p>観光客の流入促進を図るため、嬉野温泉街から塩田津伝建地区や志田焼の里まで嬉野市全体を網羅した観光浮揚策及び嬉野内外への効果的なPRが大事であると考えます。</p> <p>塩田町畦川内地区においては、地域の皆さんがあじさいの里として長年取り組んでおられる。また、嬉野町上不動地区ではしゃくなげ園も新しい観光スポットとしてクローズアップされており、観光客の心を癒す三大美肌の湯と美しい花を見て楽しんで頂きたい。</p> <p>そこで、次のことについて、市長の考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年、嬉野温泉開湯1300年の節目の年になるが、何か企画を考えているのか。 2 スポーツ観光の面では、バレーボール、野球、柔道の大会誘致等により観光客誘致効果がでたと思うが、今後もスポーツ関係の誘致を考えているのか。 3 本市においても、海外からの観光客を呼び込むにあたり韓国語・中国語・英語等の外国語の研修会等は行われているのか。

質問の相手	質 疑 の 事 項	質 問 の 要 旨
		<p>4 地域活性化を図るため、嬉野市の地域資源である志田焼の里博物館周辺を整備し、「道の駅」を造ってはどうか。</p> <p>5 公共施設の里親制度について、平成22年から平成25年3月の3年間で終了したが、この制度を今後も継続する考えはないのか。</p> <p>6 五町田地区にあるB&G施設の横に植えてあるかなめもちの木が生い茂っているが、管理はどうしているのか。</p> <p>7 畦川内地区のあじさいの花が見ごろになるが、「あじさいの里」として観光地のひとつになると思うがいかがか。</p> <p>8 上不動地区のしゃくなげ園も、大茶樹と合わせて観光スポットとして位置づけができると思うがいかがか。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 5月 31 日

通告者(議席番号 12番)

織田菊男

嬉野市議会議長 様

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	和泉式部公園について	1 公園周辺の環境、景観、道路などについて、現在の状況をどのように認識しているのか。 2 公園内の樹木の植栽の今後の計画はどう考えているのか。 3 公園の周辺整備について、今後の計画はどう考えているのか。
市長	外国人観光客の誘致について	1 市内に語学〔外国語〕を教えることができる人、また話せる人はどの位いるのか。 2 現在、東南アジアや南アジアに観光を広げるべきといわれているが市長の考えはいかがか。 3 市長は海外出張に行かれたが、どのような成果があったのか。 4 市長は、外国人観光局誘致のため、外国語の語学向上のための講習会等を行う計画はあるのか。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 5月 31日

通告者(議席番号 13番)

神近勝彦

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	国道34号、県道嬉野塩田線の歩道設置について	<ol style="list-style-type: none"> 1 国土交通省が考えている築城交差点から三坂までの整備計画の状況はどうなっているのか。 2 新幹線駅周辺整備による国道の歩道計画はどうなっているのか。 3 県道嬉野塩田線の一位原三叉路から大草野小学校までの歩道整備はどのような状況なのか。
市長	嬉野医療センター跡地の利用計画について	<ol style="list-style-type: none"> 1 跡地利用はどのように考えているのか。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 6月 3日

通告者(議席番号 11番) 田中 政司

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	農業問題について	<p>6月1日付の佐賀新聞において、佐賀県がTPPで関税が完全に撤廃された場合の試算が公表された。</p> <p>それによれば、県内農林水産の産出額は300億円程度減るとの試算である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 嬉野市における農産物への影響額はどれぐらいと考えられるか。 2. お茶に対する影響は。 3. 今後の対策についてのどのように考えているのか。
市長	観光問題について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後、市が観光施策を展開するにあたっての基本的な考え方及び市をはじめ市民、観光事業者、観光関係団体が取組みを進めるにあたっての基本的な事項を定める条例、仮称「おもてなしの嬉野観光振興条例」を制定してはどうか。 2. 最近、若者を中心としてアニメの舞台となった場所を訪問する「聖地巡礼」と言われるツアーが盛んである。自治体によっては観光資源のひとつとして「ご当地アニメ」の誘致に取り組んでいる自治体もある、市でも取り組んではどうか。
市長	歯科小児矯正について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、歯科矯正については、国保など保険の適用がなく全額自己負担である。 <p>その費用は、治療の内容にもよるがトータルで数万円から数十万円とかなり高額であり、特に子供の矯正治療については保護者の負担がかなり大きい。子供への歯科矯正治療に対する費用の一部助成など考えられないか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25 年 6 月 3 日

通告者(議席番号 15 番)

西村信夫

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	農業問題について	<p>佐賀県はTPP参加による県内農林水産物への影響額を公表した。TPPで関税が撤廃された場合、県内農林水産物産出額が300億円程度減少するとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 嬉野市独自の農業生産物(米・麦・茶・牛・豚肉・乳製品)への影響額を品目別に伺う。 農業所得の減少により本市の地方税収への影響はどうか。 TPP交渉参加問題では、幅広い層からの反対や懸念の声が続いているが、市長の所見を伺う。 安倍新政権は10年間で「農業・農村の所得を倍増させる」という目標である。一般の人たちは農家個人の所得の倍増だと思っている。現在の戸別所得補償制度はどうなるのか。また、市内で24年度戸別所得補償制度による支払実績を伺う。 嬉野市25年度産地資金の配分計画はどのようになっているか。
市長	鳥獣被害防止について	<ol style="list-style-type: none"> 市内でも野生鳥獣による農作物の被害が激増しているが、平成24年度の被害状況を具体的に伺う。 鳥獣被害防止対策の取り組みと鳥獣被害対策実施隊の編成を具体的に伺う。
市長	耕作放棄地の整備と活用について	<ol style="list-style-type: none"> 市内の農地面積の中で遊休地・耕作放棄地の現状と再生利用交付金活用の実績と今後の事業計画を伺う。

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年6月3日

通告者(議席番号14番) 田口好秋

嬉野市議会議長 太田重喜様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	治水ダムについて	<p>塩田川の改修は終了し、維持管理の状態に移っている。河川改修の際、上流に三箇所治水ダムを作ることを前提にした設計で工事が完了している。しかしながら、残された最後の不動山地区のダムについては、何ら進展がみられない。</p> <p>ダムに関わる諸問題について市長の見解を尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最近、県との協議をした経緯はあるか。 2. ダム建設予定地とされている地区内において、道路改修等何ら問題は発生していないか。 3. 塩田川流域の安全・安心を実現するため、ダム建設は推進していく必要があると思うが、市長の考えを問う。
市長 教育長	少子高齢・人口減少化社会における行財政運営、施設整備の在り方について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活雑排水処理の諸施策について(既存、今後も含む) 2. 交流人口を主な対象とした施設整備の在り方について 3. 定住人口を主な対象とした施設整備の在り方について 4. 老朽化した行政財産の今後の施策について 5. 学校給食センターの今後の運営方針について
市長	市長選挙について	<p>来年一月に実施される市長選挙に、現在市外に在住の方が立候補予定ということが新聞で報道されたが、現在市長を務めておられる立場として立候補の考えはあるか。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 25年 6月 3日

通告者(議席番号 6番)

小田 寛之

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨(具体的に)
市長	子育て支援について	<p>少子化が深刻な問題である中、各自治体では子育て支援を重要な課題と捉え、様々なサービスが展開されている。嬉野市でも子育て支援として、あらゆる事業が行われているが、近隣の市町と比較してどうか。各事業に該当する市民の参加・利用状況はどうか。</p> <p>① 子育て支援センターの開所時間、事業の開催場所・回数についてどう考えるか。</p> <p>② その他の各事業について。例えば、子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト事業)等の利用状況はどうか。</p>
市長	公有財産の処分について	<p>公有財産は市民の大切な財産である。処分をする場合、価値のあるものは少しでも高く、また、価値のないものはいかに処分料等がかからないように努力をしなければならないと思う。</p> <p>①あらゆる公有財産について処分はどのように行われているのか。</p> <p>②以前の一般質問で、自動車はネット公売で高く取引されており、タダ同然で引き取られていく車輛等をネット公売の手法で売却できないかとの質問に対し、「非常に有効な仕組みと思うので研究をしたい」と答弁がなされた。</p> <p>前向きな答弁にもかかわらず、なぜ未だに実行できないのか。どのような研究だったのか。また、今後どうするのか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成25年6月3日

通告者(議席番号 17 番)

山口 要

嬉野市議会議長 様

記

N0. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市 長	1 リーダー論について 2 財政問題について 3 シティプロモーションについて 4 総合計画について	1 首長というトップリーダーとしての役割や資質についての所見を問う。 1 財政問題における考え方や取り組みについて ① 地方交付税や臨時財政対策債に対するあり様や受け止め方についてどのように考えているか。 ② 本市における今後の財政見通しはどうか。 ③ 市職員間での財政全般についての認識はいかなるものか。また財政に関する勉強会等は開催されているのか。 ④ 予算配分でのシーリング方式について、各部・各課で十分に理解されていると考えるか。 1 シティプロモーションの展開について ① まちの魅力である地域資源を地域内外にアピールし、まち自体を効果的に売り込む「シティプロモーション」についていかに考えているか。 ② 「シティセールspartner制度」の導入に向けて検討してはどうか。 ③ ローマ法王への茶の贈呈に関する内外の反応はどうであったか。また今後についての展開はどう図っていくのか。 ④ 前回提案した「うれしのファンクラブ」のその後の取り組みはどうか。 1 総合計画の見直しにおける取り組みについて ① 総合計画見直しの今後のスケジュールはどのように予定しているのか。 ② 見直しする中で、市民をより巻き込んで住民意見を反映させる手段として、仮称「100人委員会」みたいなワークショップを立ち上げる考えはないか。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	5 公文書表記について 6 文化問題について 7 公衆トイレについて	1 家族を自殺で失った遺族の心情などに配慮して「自殺」という表記を「自死」に改めることを検討してはどうか。 1 アートフェスティバルについて ① 芸術・文化の香り高い街づくりを進める中で、市民としてプロ・アマの隔てなく、自宅の居間や店舗の一角を使ってそれぞれが自由に個展を開くという同時多発の展覧会「アートフェスティバル」について研究してみてもどうか。 2 社会文化会館について ① 社会文化会館のあり様について、いかに考えているのか。 ② オープニングの企画や、その後の展開はどう図っていくのか。 1 公衆トイレの問題点や取り組みについて ① 現在の公衆トイレの清掃は充分に行われているか。また観光客等からのクレームはないか。 ② 公衆トイレの男性用と女性用の比率はどうか。また今後について女性用トイレを増設し、女性に優しい街づくりに取り組むことも必要と考えるが。
市長 教育委員長	8 教育問題について	1 政府の教育再生実行会議素案について ① 現行の教育委員会制度と今回の提言に対する所見を問う。 ② 小学校英語教科化に対する考え方は。また現在実施されている小5、6年の現状はどうか。